

## 付属資料 2 管理ファイルの XML 記入例

### (1) 業務管理ファイルの出力例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE gomudata SYSTEM "IND_MDO3.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="IND_MDO3.XSL" ?>
<gomudata DTD_version="03">

<基礎情報>
  <メディア番号>2</メディア番号>
  <メディア総枚数>3</メディア総枚数>
  <適用要領基準>農村振興機械 201403-01</適用要領基準>
  <報告書フォルダ名>REPORT</報告書フォルダ名>
  <報告書オリジナルファイルフォルダ名>REPORT/ORG</報告書オリジナルファイルフォルダ名>
  <図面フォルダ名>DRAWING</図面フォルダ名>
  <写真フォルダ名>PHOTO</写真フォルダ名>
  <測量データフォルダ名>SURVEY</測量データフォルダ名>
  <地質データフォルダ名>BORING</地質データフォルダ名>
</基礎情報>
<業務件名等>
  <業務実績システムバージョン番号> 4.0 <業務実績システムバージョン番号>
  <業務実績システム登録番号>10604025031<業務実績システム登録番号>
  <設計書コード>20068352402005</設計書コード>
  <業務名称>〇〇ポンプ設備設計業務</業務名称>
  <住所情報>
    <住所コード>13101</住所コード>
    <住所>〇〇県△△市 × ×町〇丁目〇〇番地</住所>
  </住所情報>
  <履行期間-着手>2007-10-01</履行期間-着手>
  <履行期間-完了>2007-03-25</履行期間-完了>
</業務件名等>
<場所情報>
  <測地系>00</測地系>
  <水系-路線情報>
    <対象水系路線コード>19303</対象水系路線コード>
    <対象水系路線名>〇〇川</対象水系路線名>
    <現道-旧道区分>0</現道-旧道区分>
    <対象河川コード>8606040001</対象河川コード>
    <左右岸上下線コード>02</左右岸上下線コード>
    <測点情報>
      <起点側測点-n>0015</起点側測点-n>
      <起点側測点-m>008</起点側測点-m>
      <終点側測点-n>0018</終点側測点-n>
      <終点側測点-m>005</終点側測点-m>
    </測点情報>
    <距離標情報>
      <起点側距離標-n>031</起点側距離標-n>
      <起点側距離標-m>045</起点側距離標-m>
      <終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>
      <終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>
    </距離標情報>
  </水系-路線情報>
  <境界座標情報>
    <西側境界座標経度>1383730</西側境界座標経度>
```

<東側境界座標経度>1384500</東側境界座標経度>  
<北側境界座標緯度>0352500</北側境界座標緯度>  
<南側境界座標緯度>0352000</南側境界座標緯度>

</境界座標情報>

</場所情報>

<施設情報>

<施設名称>〇〇ポンプ場</施設名称>

</施設情報>

<発注者情報>

<発注者機関コード>04295003</発注者機関コード>

<発注者機関事務所名>農林水産省〇〇農政局△△事業所</発注者機関事務所名>

</発注者情報>

<受注者情報>

<受注者名>〇〇株式会社</受注者名>

<受注者コード>00000123</受注者コード>

</受注者情報>

<業務情報>

<主な業務の内容>1</主な業務の内容>

<業務分野コード>1823020</業務分野コード>

<業務分野コード>1824060</業務分野コード>

<業務キーワード>機械設備</業務キーワード>

<業務キーワード>真空ポンプ</業務キーワード>

<業務キーワード>操作盤</業務キーワード>

<業務概要>本業務は、〇〇川流域の内水排除を目的とした〇〇ポンプ場の機械設備の実施設計を行った。主ポンプは真空ポンプとし、原動機にはガスタービンを採用した。操作員の負担軽減を目的として運転支援設備、後方支援として遠隔制御設備の設計も行った。</業務概要>

</業務情報>

<予備></予備>

<ソフトメーカ用TAG></ソフトメーカ用TAG>

</gyomudata>

## (2) 報告書管理ファイルの出力例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE reportdata SYSTEM "REP03.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="REP03.XSL" ?>
<reportdata DTD_version="03">
```

### <報告書ファイル情報>

```
<報告書名>ポンプ設備設計業務</報告書名>
<報告書副題>設計概要</報告書副題>
<報告書ファイル名>REPORT01.PDF</報告書ファイル名>
<報告書ファイル日本語名>報告書(第1章).XXX</報告書ファイル日本語名>
<報告書ファイル作成ソフトウェア名>〇□△_PDF 作成ソフト_2005</報告書ファイル作成ソフトウェア名>
<設計項目>報告書</設計項目>
<成果品項目>本報告書</成果品項目>
```

### <報告書オリジナルファイル情報>

```
<報告書オリジナルファイル名>REP01_01.XXX</報告書オリジナルファイル名>
<報告書オリジナルファイル日本語名>〇〇ポンプ設備設計業務_報告書 01_01.DOC</報告書オリジナルファイル日本語名>
<報告書オリジナルファイル作成ソフトウェア名>□△▽ワープロソフト_2005</報告書オリジナルファイル作成ソフトウェア名>
</報告書オリジナルファイル情報>
```

### <報告書オリジナルファイル情報>

```
<報告書オリジナルファイル名>REP01_02.XXX</報告書オリジナルファイル名>
<報告書オリジナルファイル日本語名>〇〇ポンプ設備設計業務_報告書 P29 の表.XXX</報告書オリジナルファイル日本語名>
<報告書オリジナルファイル作成ソフトウェア名>△▽〇表計算ソフト_2005</報告書オリジナルファイル作成ソフトウェア名>
</報告書オリジナルファイル情報>
```

### <その他>

```
<受注者説明文>受注者側で特記すべき事項がある場合は記入する。</受注者説明文>
<予備>紙の成果品がある場合は資料名を記入する。説明文以外で特記すべき事項があれば記入する。
(複数入力可)</予備>
</その他>
</報告書ファイル情報>
```

### <報告書ファイル情報>

```
<報告書名>〇〇ポンプ設備設計業務</報告書名>
<報告書副題>第2章</報告書副題>
<報告書ファイル名>REPORT02.PDF</報告書ファイル名>
<報告書ファイル日本語名>報告書(第2章).XXX</報告書ファイル日本語名>
<報告書ファイル作成ソフトウェア名>〇□△_PDF 作成ソフト_2005</報告書ファイル作成ソフトウェア名>
<設計項目>報告書</設計項目>
<成果品項目>本報告書</成果品項目>
<報告書オリジナルファイル情報>
<報告書オリジナルファイル名>REP02_01.XXX</報告書オリジナルファイル名>
<報告書オリジナルファイル日本語名>〇〇ポンプ設備設計業務_報告書 02_01.DOC</報告書オリジナルファイル日本語名>
<報告書オリジナルファイル作成ソフトウェア名>□△▽ワープロソフト_2005</報告書オリジナルファイル作成ソフトウェア名>
</報告書オリジナルファイル情報>
```

<その他></その他>  
</報告書ファイル情報>

<ソフトメーカー用 TAG>ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数入力可)</ソフトメーカー用 TAG>

</reportdata>